

RIMS 研究集会「数学史の研究」

2014 年 9 月 1～4 日

京都大学数理解析研究所 111 号室

研究代表者：三浦伸夫 神戸大学国際文化科学研究科 miuranob@kobe-u.ac.jp

9 月 1 日 (13 : 00~16 : 45)

13:00	開始	
13:00~13:45	神谷徳昭	ある視点から観た木村俊吉について
13:50~14:35	柏崎昭文	三上義夫より見たる和算オリエンタリズム
14:45~15:30	曾我昇平	『同文算指』における西洋算術の取り扱い——Clavius 著『实用算術概論』との比較研究
15:35~16:45	佐々木力	菊池大麓と藤澤利喜太郎: 日本近代数学者の二つの原型、海外留学地現地調査に基づいて

9 月 2 日 (9 : 00~16 : 45)

9:00~9:45	堀口俊二・下斗米哲明	清水流測量術秘伝書の発見～測量家たちの繋がりとは宗教から測量術の一考察～
9:50~10:35	鈴木武雄	嶋谷市左衛門と『按針之法』の新写本
10:45~11:30	藤井康生	『精要算法下巻』第 60 問 (角術) について
11:35~12:20	森本光生	『大成算経』における演段について
	(昼休み)	
13:30~14:15	公田藏	20 世紀中期の日本における微積分の教育
14:20~15:05	ハラルド・クマレ	『東北数学雑誌』の「雑録彙法」——1911 年から 1922 年までの全掲載分を分析して——
15:15~16:00	高橋秀裕	マクローリン『流率論』について

16:05～16:45 増田茂 19世紀における熱運動と流体運動の混乱と統一
17:30 懇親会

9月3日(9:00～16:30)

9:00～9:45 城地茂 『楊輝算法』(1275年)の関孝和写本(1661年)と延世大学校写本
9:50～10:35 小川東 建部賢弘の数学思想再訪
10:45～11:30 小林龍彦 中根元圭の研究(Ⅳ)
(昼休み)
13:00～13:45 真島秀行 享保日本総図と建部賢弘
13:50～15:20 川村博忠 【特別講演】享保日本図と建部賢弘
15:30～16:30 長田直樹 『解伏題之法』について(Ⅱ)

9月4日(9:00～11:45)

9:00～9:40 小曾根 和算における幾何図形の起源と背景について
9:40～10:20 野村恒彦 バベッジの“Essays on the Philosophy of Analysis”のうち“Of Artifices”について
10:20～11:05 高瀬正仁 フェルマの数論
11:05～11:50 西村重人 フーリエの熱伝導の研究の経過について
11:50 終了

懇親会

2日 18:00～20:00 京都大学北部生協2階. 講演者以外の方々の参加も大歓迎します.

講究録原稿

11月30日締め切り(厳守) 送り先: miuranob@kobe-u.ac.jp 三浦伸夫